

三重県知事のブラジル・サンパウロ訪問（8月21日）の概要について

（時刻は現地時間。時差は日本時間に対してマイナス12時間）

1 ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑献花・日本館（忍者展）訪問

- （1）日時 令和5年8月21日（月）10時00分から11時40分まで
- （2）場所 イビラプエラ公園（サンパウロ市内）
- （3）参加者

（現地側）慰霊碑献花：ブラジル日本都道府県人会連合会 市川 利雄 会長ほか
日本館：クラウディオ・クリタ館長、クリスチーナ・サガラ副館長

（三重県人会）広瀬 哲洋 会長、下川 孝 副会長、松本 茂 評議員会長

（三重県側）一見知事、中森議長 ほか

（三重大学他）山田教授ほか2名、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」3名

（4）概要

① ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑献花等

一見知事、中森議長一行は、三重県人のブラジル移住111周年にあたり、改めて開拓先没者のご苦勞を振り返り、その功績に敬意を表するため、イビラプエラ公園内にあるブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑を訪問しました。現地では、慰霊碑を管理するブラジル日本都道府県人会連合会関係者の案内の下、献花及び記帳を行いました。

※ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑は、ブラジル日本都道府県人会連合会により1975年に建立され、全体で約2,600人、うち三重県関係者300人以上が供養されています。

② 日本館視察

伝統的な建築様式により建てられた日本家屋、日本庭園があり、一般市民に日本文化を伝える日伯友好の象徴的施設である「日本館」を訪問し、クラウディオ・クリタ館長の案内のもと施設内を視察しました。

③ 忍者展視察

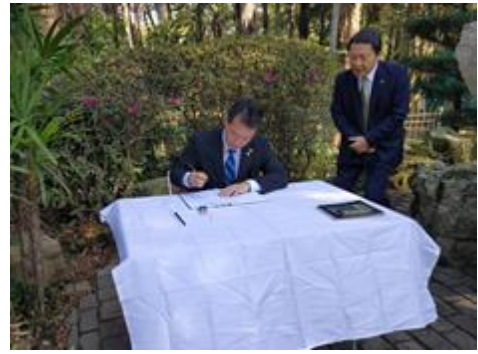
今回の訪伯にあわせて、7月2日（日）から開催中の「忍者展～忍者のふるさと三重～」(日本館と三重県による共催)を視察しました。

クリタ館長からは、今回、日本館としても力を入れている忍者展には、多くの来場者があり、また、8月19日（土）及び20日（日）に別会場で実施した伊賀流忍者特殊軍団阿修羅のステージも大盛況であり、ブラジルでの忍者人気の高さを改めて感じたとして、今回の連携に感謝を述べられました。

さらに、日本館を視察した他県訪伯団にも、三重県の展示内容は好評とのことでした。



(慰霊碑献花)



(記帳する一見知事)



(日本館の説明を受ける一見知事)



(日本館を視察)



(忍者展を視察)



(日本館正面、左からクリタ館長、
中森議長、一見知事、サガラ副館長)

2 アイルトン・セナ財団訪問

(1) 日時 令和5年8月21日(月) 13時20分から14時00分まで

(2) 場所 アイルトン・セナ財団(サンパウロ市内)

(3) 出席者

(アイルトン・セナ財団側)

代表: ヴィヴィアン・セナ氏(アイルトン・セナの姉)(※オンライン参加)

マーケティングディレクター: ビアンカ・セナ氏(アイルトン・セナの姪)

ほか1名

(三重県側) 一見知事、中森議長 ほか

(4) 概要

一見知事、中森議長は、サンパウロ州出身で、今も語り継がれるF1ドライバーである故アイルトン・セナの姉が代表を務める「アイルトン・セナ財団」を訪問し、三重県との連携等について意見交換を行いました。

- ① 一見知事から、「セナは、1988年に鈴鹿サーキットでの初優勝を飾り、自身初の年間チャンピオンを獲得するなど三重県との縁も深い。今年は、鈴鹿での初優勝から35周年、来年は没後30年となることから、今年と来年に三重県で開催予定のF1日本グランプリは、セナの偉大な業績を改めて振り返る機会となるだろう」と発言しました。
- ② 代表のヴィヴィアン氏からは、「来年の没後30年メモリアルイヤーに対し情報発信や、記念グッズの販売等を計画しており、三重県と連携したい」との提案がありました。「セナのレガシーを次世代に引き継げるよう、継続した連携を図っていきたい」と述べられました。
- ③ 一見知事からは、セナ財団からのご提案について、鈴鹿サーキット関係者に伝達し協議を行うとともに、三重テラス等の県施設での連携の可能性についても検討していきたい旨応答しました。



(左からビアンカ・セナ氏 一見知事)



(記念品贈呈)

3 ジャパン・ハウス サンパウロ訪問（忍者セミナー）

(1) 日時 令和5年8月21日（月）14時30分から15時30分まで

※セミナーは15時00分から16時30分まで

(2) 場所 ジャパン・ハウス サンパウロ（サンパウロ市内）

(3) 出席者

（相手方） カルロス・アウグスト・ローザ 館長代行

（三重県側） 一見知事、中森議長 ほか

(4) 講演内容

テーマ：「忍者の虚像と実像」

講演者：三重大学 国際忍者研究センター 山田 雄司 教授、吉丸 雄哉 教授、
川上 仁一 産官学地域連携アドバイザー

(5) 概要

外務省が運営する戦略的対外発信拠点であるジャパン・ハウス サンパウロを訪問し、同施設で開催された三重大学による「忍者セミナー」の冒頭で一見知事より挨拶を行い、その後、館内を視察しました。

① 三重大学による「忍者セミナー」

三重大学国際研究忍者センターによる「忍者セミナー」が開催され、定員80人の会場が満員となりました。

セミナーの冒頭、一見知事が挨拶し、「今回のセミナーで、忍者の実像についてより深く知っていただき、将来さらなる探求の旅として、三重県にお越しいただきたい」と参加者に呼びかけました。

② 館内視察

ローザ館長代行の案内により、館内を視察しました。

館内には、展示ギャラリー、日本食レストラン、カフェ、ライブラリーがあるほか、併設のショップでは、日本酒や伝統工芸品が販売されており、伊賀焼の取扱いもありました。



（挨拶する一見知事）



（会場の様子）

4 サンパウロ市議会訪問

- (1) 日時 令和5年8月21日(月) 16時00分から17時00分まで
- (2) 場所 サンパウロ市議会(サンパウロ市内)
- (3) 出席者

(市議会側) 野村 アウレリオ議員
(三重県人会) 広瀬 哲洋 会長、下川 孝 副会長、松本 茂 評議員会長
(三重県側) 中森議長、一見知事 ほか

(4) 概要

サンパウロ市議会を訪問し、議会との交流を図るとともに、三重県人会とつながりの深い日系議員と意見交換等を行いました。

- ①中森議長から、「今年は、サンパウロ州と三重県の姉妹提携50周年の節目にあたる。両県州の交流を促進するうえで、今回、市議会と交流の機会を持てたことは嬉しい。今後も、三重県人会を懸け橋とし、周年の機会を捉えるなどして交流を続けていきたい。その際には、是非ご支援をお願いしたい。」と発言しました。
- ②野村アウレリオ議員からは、「三重県出身者は、医療や大学関係者をはじめ、ブラジル社会において各界での活躍がめざましい。今後も三重県との友好関係を密にしていければと願っている。サンパウロ市が課題とする環境問題でも協力していければ」と述べられました。
- ③一見知事からは、「三重県議会とサンパウロ市議会の良好な関係が続いていることはとてもよいこと。三重県出身者がそのように活躍されていることについて、誇りに思う。環境問題については、三重県も興味を持っているので、引き続き今後も連携していきたい」と述べられました。



(左から、吉田副領事、中森議長、
野村議員、一見知事、広瀬会長、
松本評議員会長、下川副会長)

(意見交換)